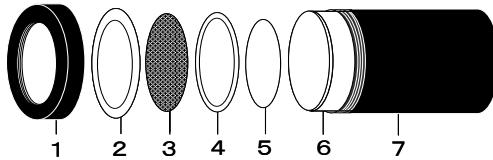


# 長期型サンプラー組み立て方法

サンプラーの構造及び分解図はしたに示すとおりです。順番に組み立てていきます。  
なお、各部品はあらかじめ蒸留水又は純水で洗浄しておいてください。



1. ジュラコン固定用ネジ蓋(内径35mm, 直径40mm, 長さ12mm)
2. テフロンパッキン(内径26mm, 直径34mm)
3. 金網付きキャップ
4. テフロンパッキン(内径26mm, 直径30mm)
5. 捕集用ろ紙(26mmφ)(別売り)
6. ガラス容器(内径27mm, 直径30mm, 長さ50mm)
7. ジュラコン遮光容器(内径30mm, 直径33mm, 長さ55mm)



サンプラーの構造及び分解図はしたに示すとおりです。順番に組み立てていきます。



ジュラコン容器にガラス容器を入れる



捕集用ろ紙をガラス容器の底に入れる



テフロンパッキン(小)をガラス容器の上に乗せる



金網付きキャップを乗せる  
(目の細かい方が上です)

## 注意事項:

- 1) 各部品、特にろ紙は素手で扱わないようにしましょう。
- 2) ろ紙を装填してからはできるだけ外気にさらさないように手早く作業しましょう。



オレンジケースにサンプラーを入れしっかり栓をします



蓋を閉めます



ジュラコンネジ蓋にテフロンパッキン(大)をはめる

## 長期型サンプラー設置方法



測定する場所にある木、電柱、標識などに針金などを使って固定します

サンプラーの頭部をシェルター内の金具に引っかけて、格納します。

この状態で約1ヶ月間放置して捕集を行う

## 長期型サンプラー回収方法



シェルターからサンプラーを取り外します。

サンプラーを密閉容器に入れ、しっかりと蓋をします

この状態で実験室に持ち帰ります

### 注意事項

1. 設置した時刻と回収した時刻を記録することを忘れないようにしましょう
2. 室内で捕集する場合はシェルターを用いなくてもかまいません
3. 設置するまでと回収して分析するまでは、サンプラーが直射日光や高温にさらされることのないように、できるだけ、冷蔵庫などに保存してください